環境・リサイクル

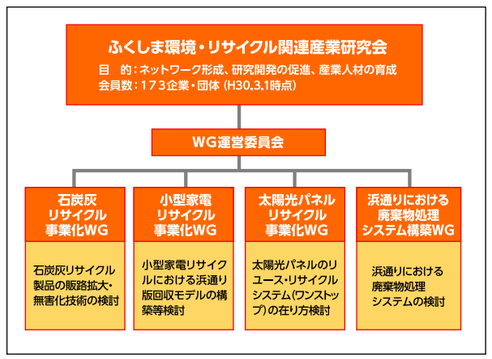
再生可能エネルギー関連施設の立地が進む浜通り地域等では、今後太陽光パネル等のリサイクル需要が見込まれることなどから、太陽光パネルや石炭灰等の先端的なリサイクル技術開発等の取組を推進することによって、新たな産業創出を進めていきます。

環境・リサイクル関連プロジェクト

平成27年8月に「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会」を設立しました。

研究会を通じて浜通り地域等を中心に新たな環境・リサイクル産業の集積を図るとともに、新たなリサイクル事業の実証や人材育成等を実施します。

環境リサイクル研究会



ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会における検討体制

福島エコクリート株式会社の取組

フライアッシュ（石炭灰）を用いた土木資材の製造

「福島エコクリート事業」は、福島イノベーション・コースト構想の環境・リサイクル分野における「石炭灰混合材料製造事業」の一環として計画されているものです。

南相馬市において火力発電所から発生するフライアッシュ（石炭灰）を主原料とするエコクリート砕石の製造・販売を行う事業を新たに立ち上げて「新しい雇用の創出」と「復興資材の製造」を行っています。

避難指示が解除された南相馬市小高区に、工業系の職場を立ち上げ、20名の地元雇用が生み出されており、その中には、市外・県外からふるさとへ帰還を果たした6名が含まれています。

原料であるフライアッシュは県内に立地する火力発電所から発生したものを使用しているため、産業副産物の「地産池消」を実現した、環境にやさしい土木資材です。

この製品は「ORクリート」という名称で、これは小高復興（リサイクル）クリート “Odaka Rivive (Recycle)クリート” の頭文字からつけたネーミングです。地元の小高産業技術高等学校産業革新科環境科学コースの生徒さんに募集した中から採用したものです。